

57-910

# ダーニング マッシュルーム

## 〈付け替え式〉

### 使い方説明書

この説明書は、57-910 ダーニングマッシュルーム〈付け替え式〉の使い方説明書です。

#### セット内容



#### ダーニングマッシュルーム

#### 手芸針 (3種類 各1本)

※使用する毛糸の太さに合わせて、針を選んでください。

- ・とじ針 No.15 **中細毛糸用**  
サイズ: (太さ)1.35 mm × (長さ) 54.6 mm
- ・クロスステッチ針 No.22 **合細毛糸用**  
サイズ: (太さ)0.76 mm × (長さ) 37.0 mm
- ・コットンダーナーズ(先丸)No.7 **極細毛糸用**  
サイズ: (太さ)0.69 mm × (長さ) 46.8 mm

#### リングゴム

手で持って

テーブルに置いて



3つ  
まとめて  
保管



クローバーのダーニングマッシュルームは、土台が付け替え式になっているので、手で持っても、テーブルに置いても、ダーニングが楽しめます。ハンドルは、手袋の指などを修繕するときにも使えます。

上の写真のようにすると、3つのパーツが繋がるので、ひとつにまとめて収納できます。

#### 用意するもの

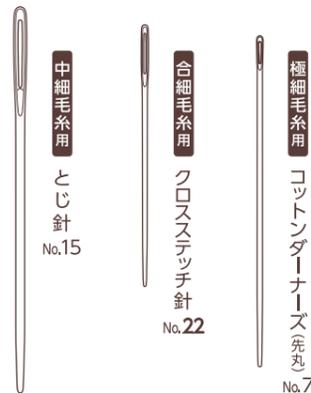
- 毛糸 ..... 使用する毛糸について
- ダーニングをしたい衣類など
- はさみ
- スチームアイロン

- ・ダーニングをする生地糸の太さに合わせて、毛糸の太さを調整します。
- ・薄手の生地や密度の詰まった生地に太い毛糸を使うと、生地に穴があいてしまうことがあるので注意してください。

#### 使用上の注意

- ・ネジの破損の原因となりますので、無理に強く締めないでください。
- ・用途以外でのご使用は、おやめください。
- ・お子様の手の届かない所に保管してください。

#### 手芸針の種類 (イラストは目安)



## ダーニングとは?

ヨーロッパで伝統的に行われている、衣類の穴あきやすり切れた箇所を修繕する針仕事です。そんなダーニングの作業に欠かせない道具がダーニングマッシュルームです。

ダーニングマッシュルームを修繕したい箇所に当てて生地を固定し、毛糸でたて糸を張って、織るようにしてお直ししていきます。

生地と近い色の毛糸を使うと修繕した跡が目立ちにくくなります。また、あえてカラフルな毛糸を使って目立たせるという手法もあります。

ダーニングのアイデアや、動画をチェック!



QRコードが読み込めない場合は、<http://www.clover.co.jp/seihin/darning.html> にアクセスしてください。

### 基本のダーニング

(刺し方 ▶ P.2~3)

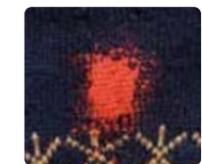
あいてしまった穴をお直しする方法です。



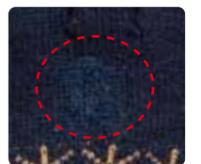
### 大きな穴のお直しや目立たせたくないときに

(刺し方 ▶ P.4)

穴が大きめるときや、修繕箇所を生地になじませたいときに適した方法です。



周りのステッチが補強になります!



同色の毛糸なら、生地となじんで目立ちにくい!

### シミ隠しや補強に

(刺し方 ▶ P.4)

ステッチを入れることで、シミを隠したり、すり切れて薄くなった箇所の補強をします。



## 基本のダーニング



1 生地を表側を手前に向け、修繕箇所にダーニングマッシュルームを裏から当てます。修繕箇所がマッシュルームの中央に来るように合わせたら、生地がピンと張るように広げて、リングゴムで固定します。



2 たて糸に使う毛糸を50cmほどにカットし、針に通します。針に通すときは、毛糸を針の頭に当てて二つに折り、折りぐせのついた所から針穴に通して引き出します。

次に、たて糸を張ります。

たて糸は、修繕箇所の穴よりも外側に張ります。たて糸の張り方次第で形を自由に変形できます。ここでは、四角で説明します。





3 穴の少し外側の、右上から刺していきます。右から左に生地を小さくすくい、毛糸を下に引きます。糸端は10cmほど残します。



4 次に、3で刺した所の真下を、右から左に小さくすくいます。できあがりの四角をイメージしながら刺しましょう。



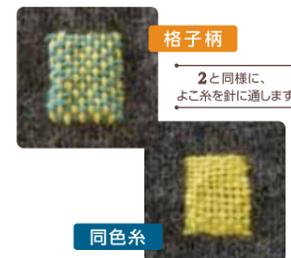
5 今度は、3で刺した所の少し左側を、右から左に小さくすくって刺します。刺していく間隔は、毛糸1本分が目安です。



6 この作業を繰り返して、たて糸を張り、穴をおおいます。

次に、よこ糸を通します。

たて糸と違う色の毛糸を使うと、格子柄ようになります。ここでは、格子柄で説明します。



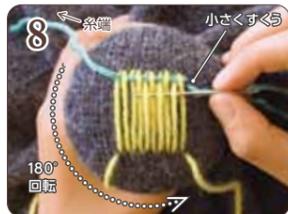
格子柄

2と同様に、よこ糸を針に通します

同色系



7 たて糸の1本目の上、2本目の下、3本目の上…と、交互に端まで通して、毛糸を引きます。糸端は10cmほど残します。



8 次の段は、7と同じ方向からよこ糸を通せるようにマッシュルームを180°回転させます。たて糸のすぐ横を上から下に小さくすくってから、織物のように前の段と通す上下を逆にし、通し、毛糸を引きます。



9 針でよこ糸を下に詰めたり、目を整えたりしながら、最後までよこ糸を通します。

途中糸がなくなりそうなときは、きりのよい端の所で終わり、次の段から新しい糸に替えましょう。新しい糸に替えたときも、生地をひとすくいして始めましょう。



10 最後までよこ糸が通せたら、糸端を10cmほど残して切ります。リングゴムをとり、マッシュルームから生地をはずします。



11 糸始末をします。糸端を裏に出して、ステッチを2目ほどひろい、毛糸をくぐらせます。



12 11でひろったステッチの糸を割るようにして2目ほど戻したら、きわで糸を切ります。



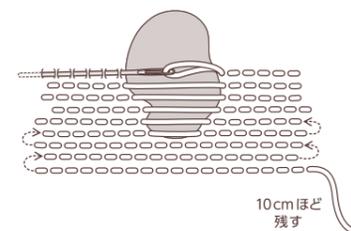
13 生地の表から、少しアイロンをうかせて軽くスチームをあて、整えます。

### その他のダーニングの刺し方 (P.4)

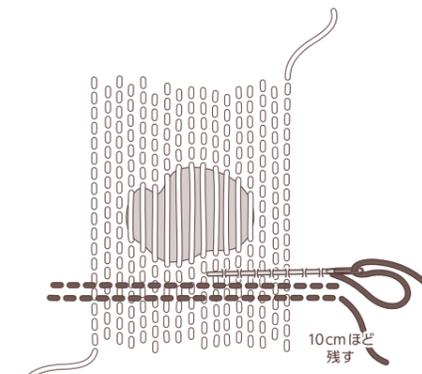
## その他のダーニングの刺し方

刺し始める前に、「基本のダーニング」の1~2 (P.2) にならって、マッシュルームに生地をセットし、毛糸の準備をしてください。刺し始めと刺し終わりは、糸端をそれぞれ10cmほど残し、「基本のダーニング」の10~13 (P.3) にならって、糸始末をしてください。

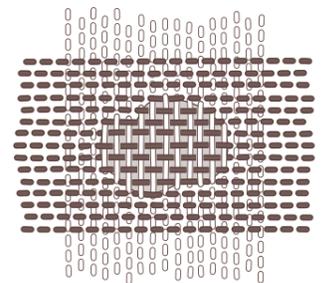
### 大きな穴のお直しや目立たせたくないときに



穴よりひとまわり大きく並ぬいします。穴の所まできたら、図のように糸を渡します。毛糸を強く引きすぎないように注意しましょう。

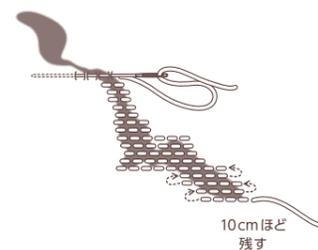


生地が90°回転するようにマッシュルームを持ち替え、再び並ぬいします。(※分かりやすくなるため、新しい糸は色を変えて表しています)



穴の部分は、織物のように、先に渡した毛糸の上側、下側、上側…と交互に通し、次の段では前の段と通す上下を逆にします。

### シミ隠しや補強に



シミや補強したい箇所がしっかりおられるように、形にそって並ぬいをしていきます。シミをきれいにカバーしたい場合は、細かく並ぬいをしてください。

ダーニングのアイデアや、動画をチェックできます!



QRコードが読み込めない場合は、<http://www.clover.co.jp/seihin/darning.html> にアクセスしてください。

▼商品に不都合な点がございましたら、お買上げ店名をご記入の上 クロバー(株)「お客様係」まで現品をお送りください。

クロバー株式会社  
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5  
「お客様係」TEL.(06)6978-2277

© 2018 CLOVER

④ 本商品や使い方説明書を無断で複製し配布することを禁じます。